

令和7年2月18日

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

代表取締役社長 野崎 秀則

国土交通省 熊本河川国道事務所 DX 勉強会の開催 ～DXによる道路・河川行政マネジメント支援の事例紹介～

令和7年2月7日(金)に国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所において、当社受注業務の一環で、当社が手掛ける道路事業及び流域治水事業で活用できる DX の事例紹介をもとに道路・河川行政におけるマネジメント支援の勉強会を開催しました。

道路系および河川系の事務所職員 69 名 (WEB 参加含む) が参加され、DX の事例をもとに、道路管理・河川管理・防災に関する職員の皆様の日々の作業や事業進捗の高度化・効率化が図られる DX 導入の一助となることを目的に開催しました。

■勉強会内容

勉強会では、既に当社で導入した実績があり、熊本河川国道事務所でも活用が可能な以下の DX の取り組み事例を紹介しました。

【道路事業における DX の取り組み】

交通まちづくり～道路事業 (計画・調査、設計、施工、維持管理、災害支援) ～包括管理と事業創出から設計・施工・管理まで幅広く推進している DX 事例の内、以下の事例を紹介

ICT 施工の DX : 設計 BIM/CIM を容易に加工し、ICT 土工用の 3 次元モデルを作成できる『土工部 ICT 施工データ変換システム』 通称 eMS (eMS earthwork Management System) による ICT 施工、施工管理の自動化・オートメーション化

道路管理の DX: 現地の端末で入力した情報をクラウド管理でリアルタイムに相互共有可能な道路巡回支援システム SOCOCA によって、平常時の道路巡回点検や災害時の被災調査で、現場との情報共有による高度化・効率化



勉強会の開催状況

【河川事業における DX の取り組み】

流域全体で行う総合的、多層的かつハード・ソフト一体の水災害対策における体系化した DX 事例を紹介

河川管理 CIM : LP データ、衛星データ、オルソ画像等の空間情報を用いた平常時の河道管理と AI による出水時を含む機械・設備等の管理によるエリアマネジメントの高度化・効率化

河川管理施設整備総合 CIM : 3 次元情報を用いた「調査」・「計画」・「設計」・「施工」・「維持管理」・「施設運用」の一元管理によるライフサイクルマネジメントの高度化・効率化

事業監理 CIM : 3 次元空間情報を用いたプラットフォームによる事業監理の高度化・効率化

総合自治体防災 CIM (スマート防災) : 3 次元情報を用いた「事前防災」・「応急対応」・「復旧・復興」の一元管理によるエリアマネジメントの高度化・効率化

出張所丸ごと DX (DX マネジメントシステム) : DX を活用した河川管理者の平常時及び災害対応の高度化・効率化

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011

URL: <https://www.oriconsul.com/>

統括本部 伊藤・日原・丸山・門司